

2021.03.26

InterRisk Thailand Flood Report <2021 No.01>

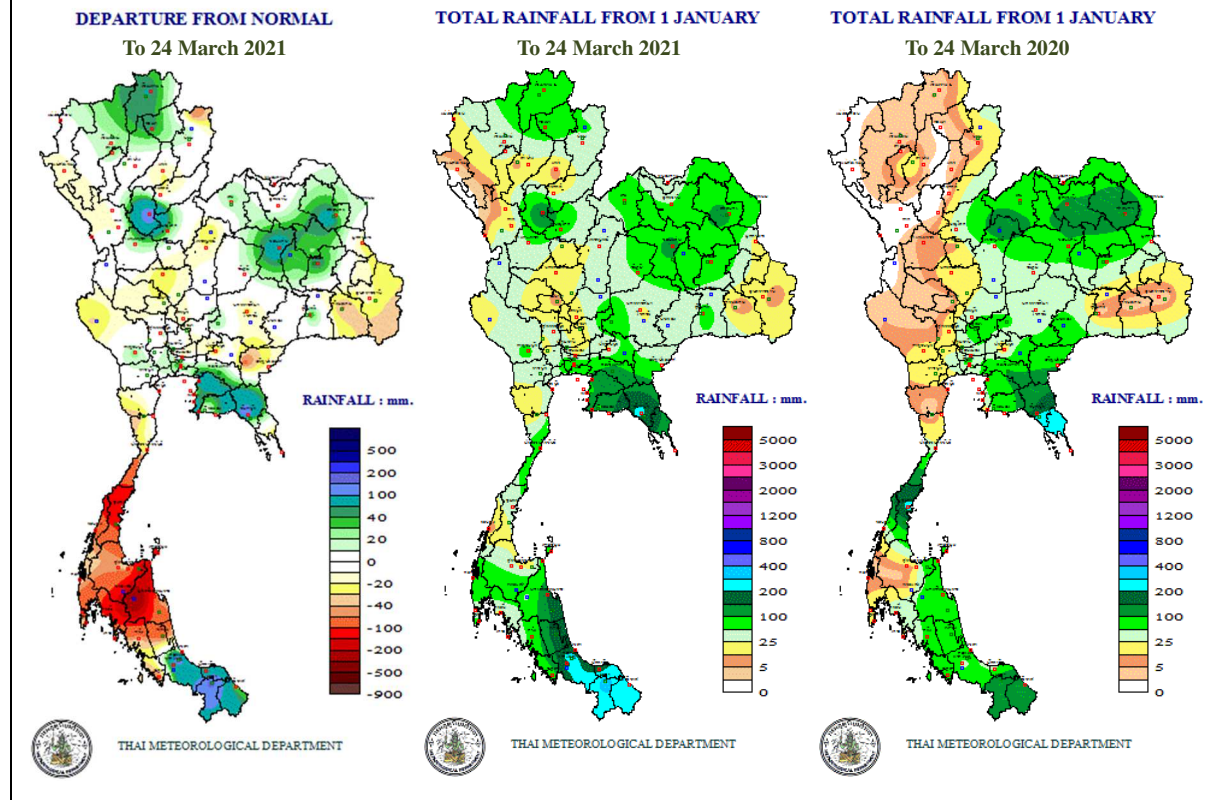
タイの渇水・洪水情報

概要

- ✓ 今回の乾期(2020～2021年)の渇水による影響は、過去40年間で最悪レベルとなった昨年(2019～2020年)ほどは大きくありません。
- ✓ Chonburi、Rayong の工業地域においても、渇水による大きな影響は出ていません。
- ✓ タイ気象局(Thai Meteorological Department: TMD)によれば、4月には降雨量が増加するとの予測であり、多くの地域で干ばつが解消される見込みです。
- ✓ チャオプラヤ川流域に位置する主要ダムの水位は、昨年の同時期と同様、低いレベルです。

降雨量

- ✓ 下図はそれぞれ、(左)2021年1月1日～3月26日における累積降雨量の平年(直近30年の平均降雨量)との差、(中央)2021年1月1日～3月26日の累積降雨量、(右)2020年1月1日～3月26日の累積降雨量を示しています。
- ✓ 左の図(平年との差)より、タイ南部を除き、今年の累積降雨量は概ね平年並みです。
- ✓ 中央と右の図(今年と昨年の1月1日～3月26日の累積降雨量)を比較すると、特にタイ北部、西部において、今年は昨年を上回る降雨があったことが分かります。



渇水の状況

- ✓ 今年の（現時点までの）降雨量は平年並みですが、過去2年間の少雨の影響により、ダムの貯水量は十分ではありません。現在、主要35箇所のダムのうち9箇所は貯水量の下限値に近い状態です。
- ✓ チャオプラヤ川流域に位置する4つの主要ダムの貯水量も、農業用水の需要量の50%程度に止まっていますが、カセサート大学の専門家によれば、渇水の影響は昨年ほど深刻ではありません。
- ✓ 今年も既にタイ全土で渇水対策が進められており、2020年11月～2021年4月における農業、工業、生活用水等への水供給の配分は下表のように計画されています。現在までに合計水量の約70%に相当する13,346百万m³が既に供給、使用されています。

水供給量（合計：18,922 百万 m ³ ）	
時期	2020.11 – 2021.4
生態系の維持	9,450 百万 m ³
生活用水	2,572 百万 m ³
農業用水	6,508 百万 m ³
工業用水	392 百万 m ³

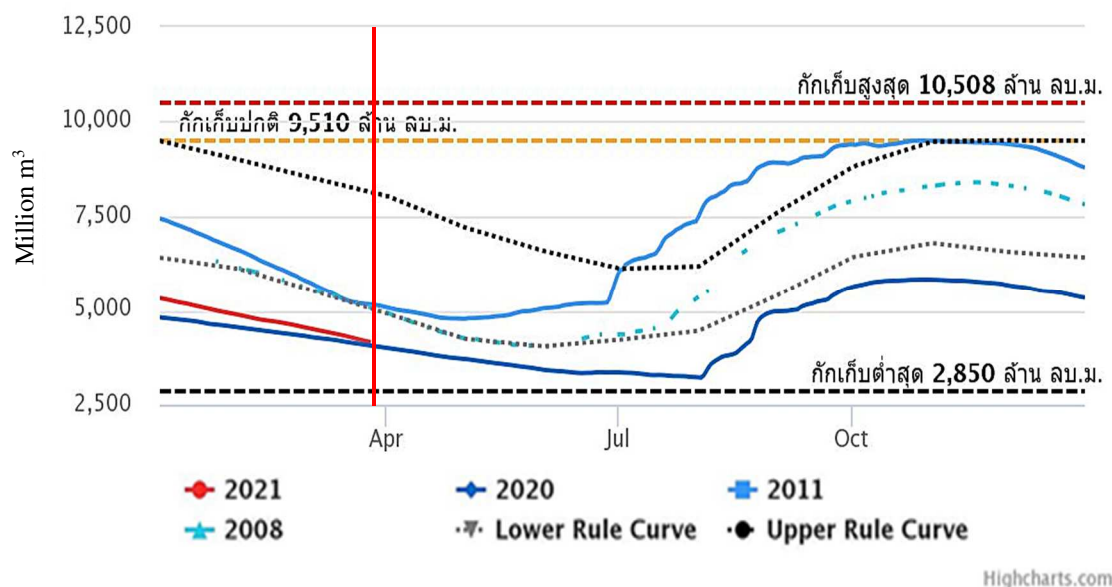
- ✓ 上表に示した水供給に加えて、チャオプラヤ川流域の主要ダムには5,000百万m³の水が配分されており、現在までに総量の78.5%に当たる3,925百万m³が使用されています。

降雨量の予測

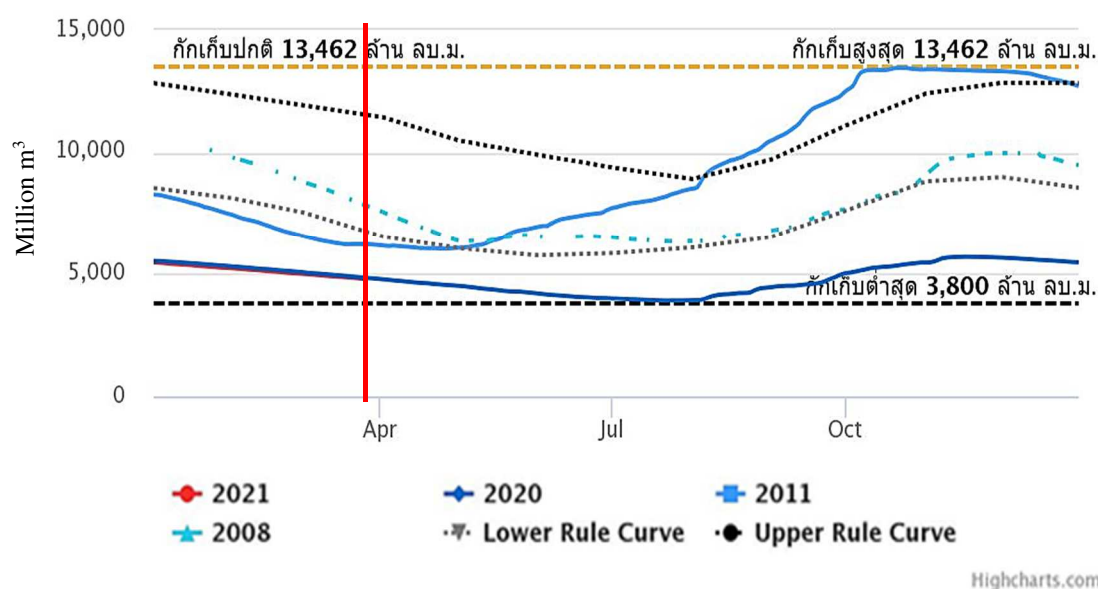
- ✓ タイ気象局によれば、4月のタイ北部における気温は42-43℃に達し、季節風の影響で平年より20%程度多い降雨が予測されています。
- ✓ タイは昨年8月から続くラニーニャ現象の影響で局所的な大雨が発生しており、北部、北東部、東部における2021年の総降雨量は平年を9～10%上回る見込みです。4月以降の降雨の予測は以下の通りです。
 - ・4月：降雨量が増加
 - ・5月：降雨量が減少
 - ・6月：降雨量が増加
 - ・7月、8月：降雨量が減少
 - ・9月：降雨量が増加（平年比33%増）
- ✓ 9月に降雨量の大幅な増加が予測されていることから、ダムの貯水量やチャオプラヤ川の水位を注視する必要があります。

ダム貯水量（Sirikit ダム、Bhumibol ダム）

貯水量：Sirikit ダム（貯水率 44%：2021 年 3 月 25 日時点）



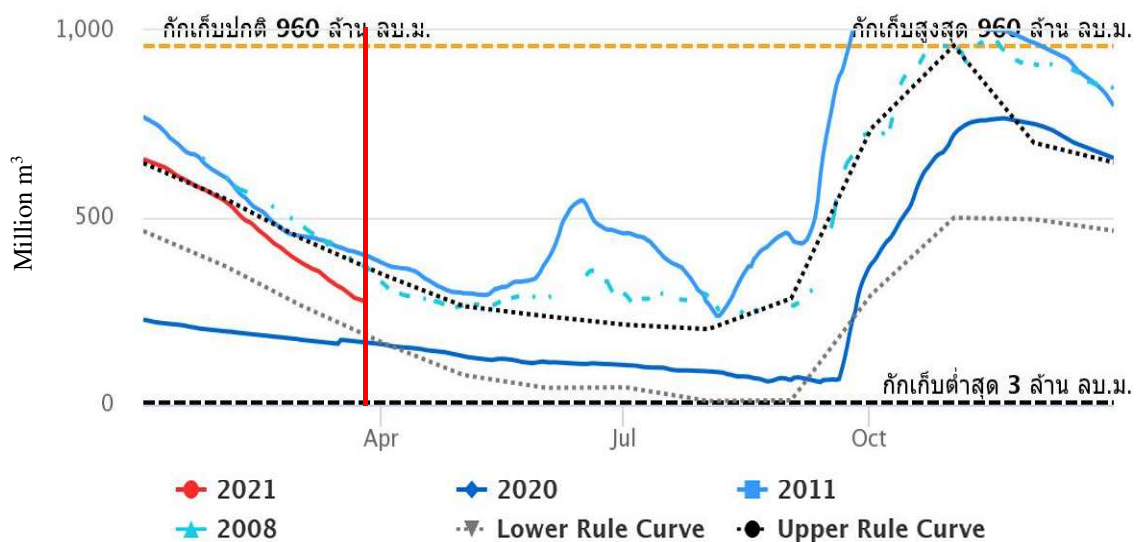
貯水量：Bhumibol ダム（貯水率 36%：2021 年 3 月 25 日時点）



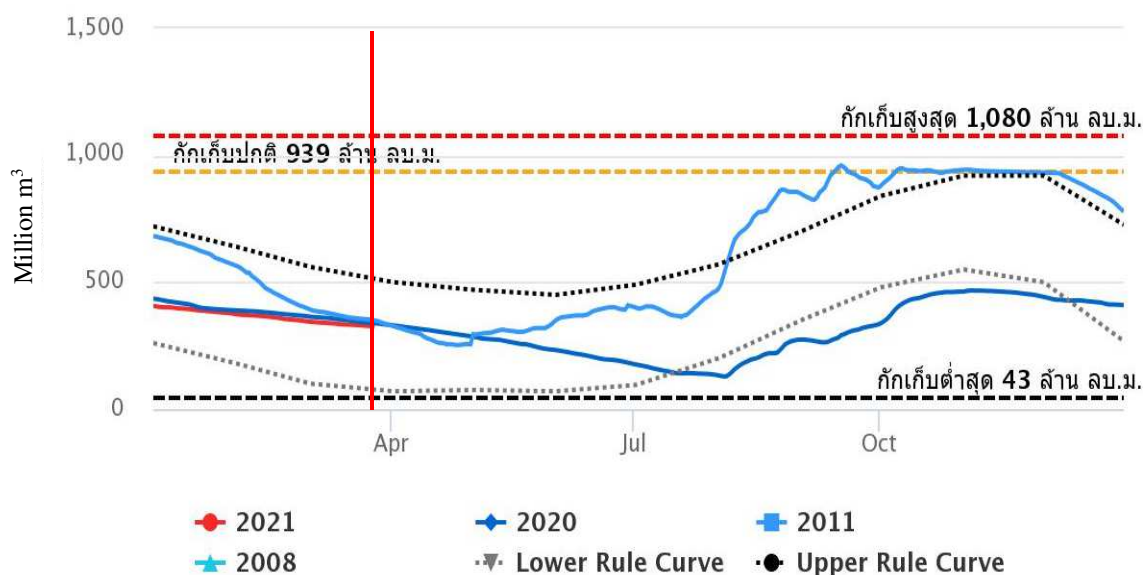
Sirikit ダム、Bhumibol ダムともに貯水量は漸減し、昨年とほぼ同じレベルです。現在の Sirikit ダムの貯水量は 4,149 百万 m³（貯水率 44%）、Bhumibol ダムの貯水量は 4,800 百万 m³（貯水率 36%）です。

ダム貯水量 (Pasak ダム、Kwaenoi ダム)

貯水量 : Pasak ダム (貯水率 29% : 2021 年 3 月 25 日時点)



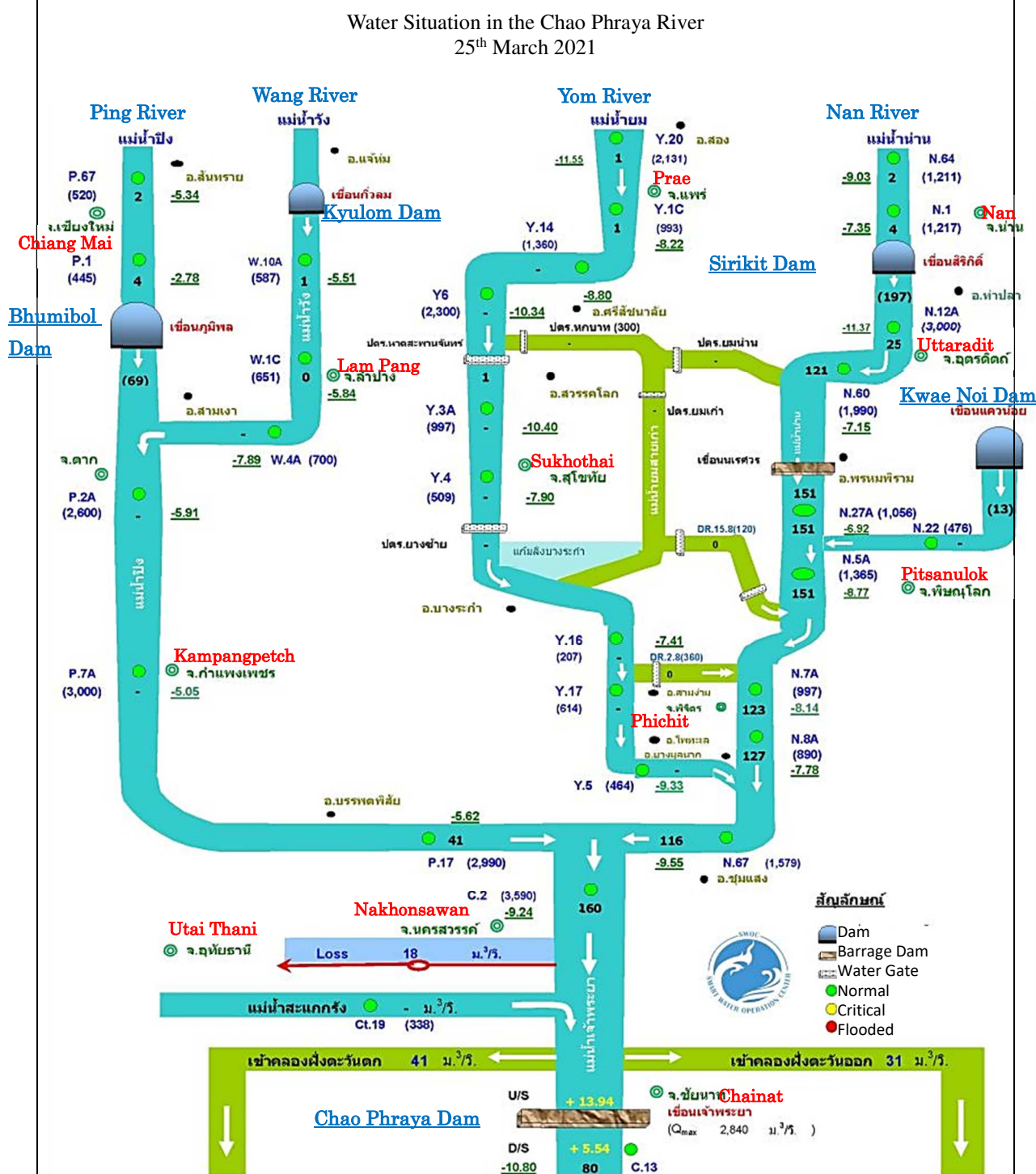
貯水量 : Kwaenoi ダム (貯水率 35% : 2021 年 3 月 25 日時点)



Pasak ダムの貯水量は 277 百万 m³ (貯水率 29%)、Kwaenoi ダムの貯水量は 325 百万 m³ (貯水率 35%) です。Pasaki ダムの貯水量は昨年より多く、Kwaenoi ダムは昨年並みです。

チャオプラヤ水系の河川水位 (チャオプラヤダム上流: 2021 年 3 月 25 日時点)

チャオプラヤ水系の河川水位はいずれも非常に低く、最も水位が高い Nakhonsawan でも堤防天端から水面まで 9m の余裕があります。



【備考】

①河川の中に示されている黒文字の数値：河川流量 (m^3/sec)

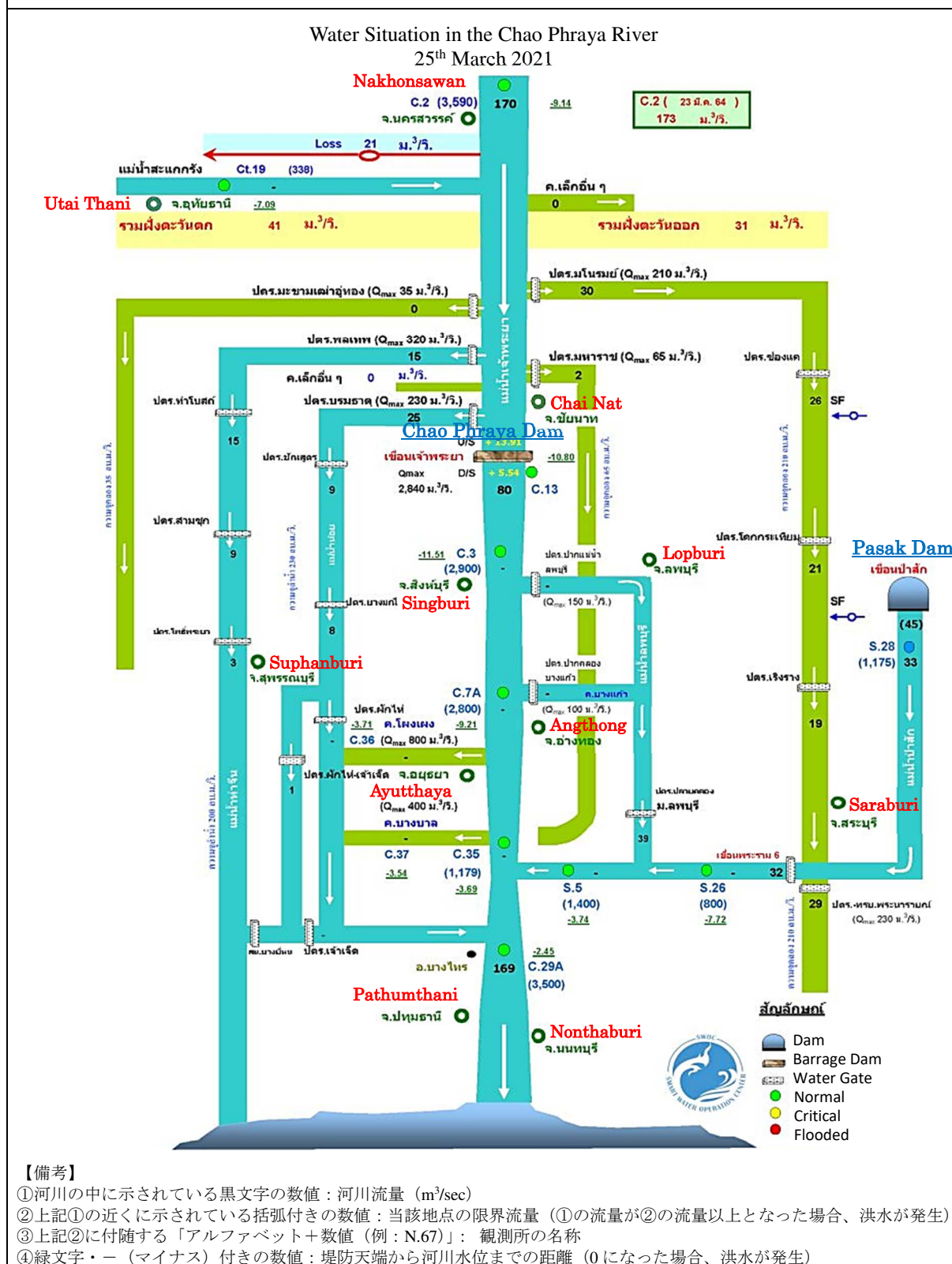
②上記①の近くに示されている括弧付きの数値：当該地点の限界流量（①の流量が②の流量以上となった場合、洪水が発生）

③上記②に付随する「アルファベット+数値（例：N.67）」：観測所の名称

④緑文字・－（マイナス）付きの数値：堤防天端から河川水位までの距離（0になった場合、洪水が発生）

チャオプラヤ水系の河川水位 (チャオプラヤダム下流 : 2021 年 3 月 25 日時点)

チャオプラヤダム下流の水位は昨年より若干高いものの、全ての観測点で” Normal (洪水危険なし)” の状態です。



参照

https://www.tmd.go.th/monthly_forecast.php

<http://www.arcims.tmd.go.th/dailydata/yearRain.php>

<http://www.thaiwater.net/water/dam/large>

http://water.rid.go.th/flood/plan_new/chaophaya/Chao_low.php?cal2=25032021

<http://water.rid.go.th/flood/flood/daily.pdf>

<https://www.thairath.co.th/news/local/2004835>

<https://www.thairath.co.th/news/local/2044305>

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

MS&AD インターリスク総研（株） 総合企画部 国際業務グループ

TEL.03-5296-8920

<https://www.irric.co.jp/>

インターリスクアジアタイランドは、タイに設立された MS&AD インシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等における火災リスク調査や洪水リスク評価、ならびに交通リスク、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd.

175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok 10120, Thailand

TEL: +66-(0)-2679-5276

FAX: +66-(0)-2679-5278

<https://www.interriskthai.co.th/>

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業の CSR 活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright MS&AD インターリスク総研株式会社 2021